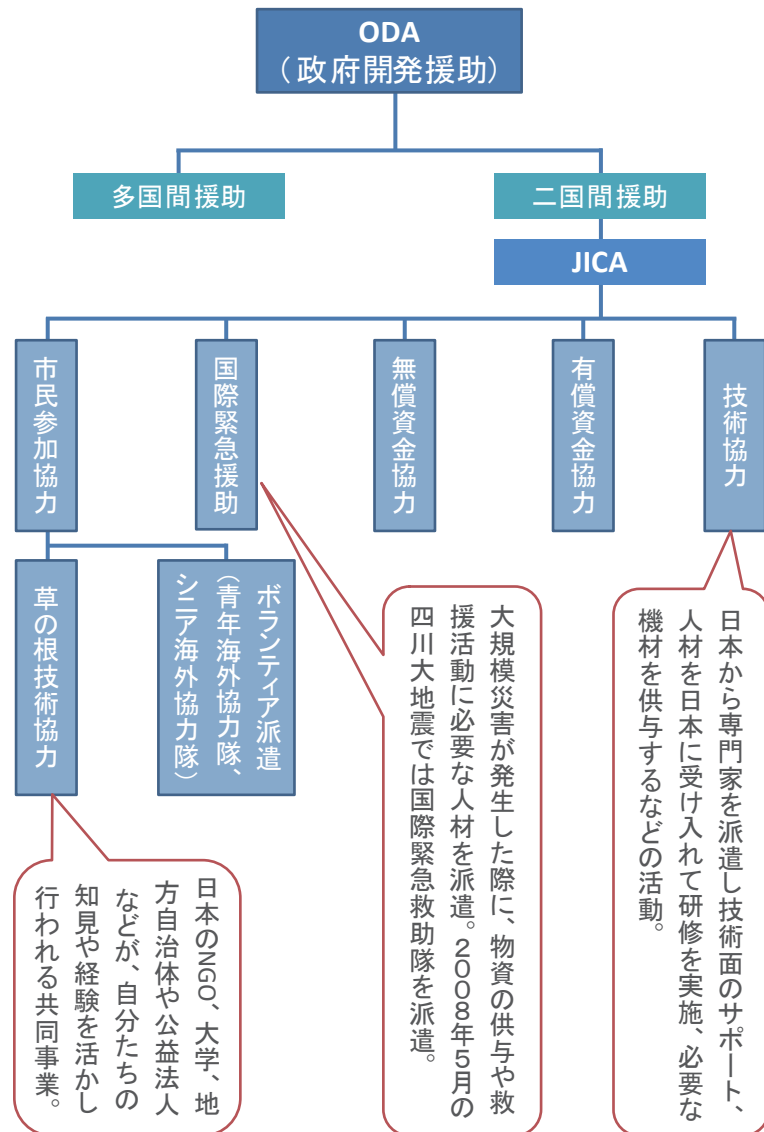


政府開発援助（ODA）

開発途上国の社会・経済の開発を支援するため、日本政府をはじめ、国際機関、NGO、民間企業など、様々な組織や団体が経済協力を行っています。これらの経済協力のうち、政府が開発途上国に行う資金や技術の協力を政府開発援助（ODA: Official Development Assistance）といいます。日本は1954年より開発途上国に資金的、技術的な協力を実施しています。

独立行政法人国際協力機構（JICA）

JICAは日本のODA実施機関として、国際機関への資金の拠出を除く、二国間援助の3つの手法「技術協力」「有償資金協力」「無償資金協力」を一元的に担っています。JICAは「信頼で世界をつなぐ」というビジョンを掲げ、人間の安全保障と質の高い成長を実現するために、開発途上国が抱える課題解決を支援しています。世界最大規模の二国間援助機関であるJICAは、約100カ所にのぼる海外拠点を窓口として、世界150以上の国と地域で事業を展開しており、中華人民共和国事務所は1982年に開設されました。



事業実績

■金額

	2017年度	累計 (1979年～2017年度)
技術協力	4.03億円	1,849.02億円
有償資金協力	—	3兆3,165億円
無償資金協力 (JICA担当分)	—	1,398.33億円

■件数・人数

事業形態		2017年度 (新規および継続)	累計 (1979年～2017年)
技術協力プロジェクト	件数	7	125
専門家派遣	人数	63	9,448
研修員受入	人数	101	37,201
開発調査	件数	—	212
青年海外協力隊	人数	13	817
シニア海外ボランティア	人数	1	33
草の根技術協力プロジェクト	件数	4	190

■中国事務所 周辺地図



独立行政法人 国際協力機構 中華人民共和国事務所
 100004 北京市朝陽区東三環北路5号 北京発展大厦400号
 TEL:010-6590-9250 FAX:010-6590-9260

<http://www.jica.go.jp/china/chinese/office/index.html>

2019年9月制作



Japan International
Cooperation Agency

独立行政法人 国際協力機構
中華人民共和国事務所

最近の協力事例

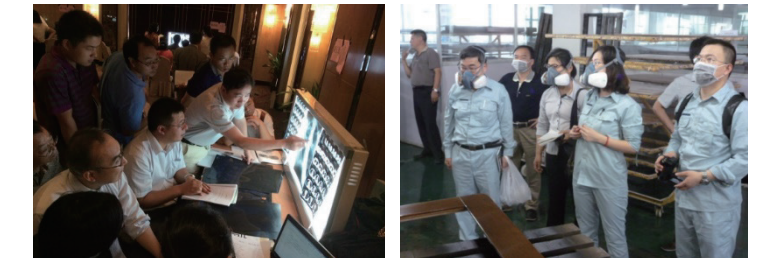
① 大気汚染対策・感染症対策支援～

- 日本国民へ直接的な影響を及ぼす分野への取り組み
 - PM10・PM2.5による大気汚染に関する調査や技術支援
 - 日中環境保全センターを通じた政策制度・対話強化
 - 結核、ポリオ、鳥インフルエンザ等への協力



② ガバナンス強化支援～

- 日系企業の中国ビジネスリスクを軽減
 - 立法協力(民事訴訟法、環境保護法、食品安全法等、起草段階からの指導)
 - 国際税務(二重課税(非居住者課税制度の運用)課題の解決)
 - 労働安全(基準策定・運用指導等による労働者の健康被害・訴訟の未然防止)



③ 中国国内課題に対する支援～

- 高齢化対策支援(日本の高齢化に関する政策や技術、地域での取り組みなどを参考にプロジェクト実施中)
- 環境配慮型農業支援(農業を最大限軽減しつつ収量を増量させるプロジェクト)



④ 自治体(姉妹都市)や個人の国際協力を支援～

- 滋賀県—湖南省(農村水環境改善支援)
- 島根県—寧夏自治区(汚泥利用技術移転)

⑤ 民間連携事業

- 中国の課題解決支援と日系企業への裨益
 - JICA中国事務所—北京城市排水集団有限責任公司科技研发中心における連携MOU締結
 - JICA中国事務所—中国科学院上海高等研究院における連携MOU締結

対中国ODAの変遷と協力事例

1979年12月、大平正芳総理大臣(当時)訪中後に、対中国ODAが開始。

「より豊かな中国の出現がよりよき世界に繋がるとの期待。我が国が中国の近代化に協力するとの方針を強く打ち出したのも、このような世界の期待に裏打ちされているからである」(訪中時の大平総理演説)

【1980年代】

- 円借款による大規模な経済インフラ整備
 - 秦皇島港拡充、大同・秦皇島港間鉄道建設
 - 連雲港(江蘇省)、青島港の建設など
- 国営企業の工場近代化支援(119件)
- 中日友好病院の施設・機材整備と人材育成

【1990年代】

- 都市化の進展に伴うインフラ整備
 - 北京市地下鉄1号線、主要都市の上下水道等
- 急速な経済成長を支える経済インフラ整備
 - 北京空港第2ターミナル、上海浦東空港
- 環境汚染対策
 - 日中友好環境保全センターの施設整備、環境汚染対策支援のための技術協力の実施
- 沿岸部/内陸部、都市部/農村部間の格差是正のための貧困対策支援

【2000年代以降】

- 沿海部中心のインフラ開発・整備から、環境・生態保全へ
 - 植林、森林保全関連の協力
 - 「人とトキが共生できる地域環境づくり」
- 内陸部の社会開発や人々の生活改善
 - 西安市廃棄物管理改善計画
 - 農村社会養老保険制度整備調査
 - 貴州省総合貧困対策支援
- 人材育成、制度作りを重視する支援へ
 - 法制度整備支援
- 四川地震復興支援
 - 心のケア、建築耐震技術支援
- 越境公害、感染症、食の安全等の特定分野での協力実施

【ODAのその先へ】

2018年10月26日に2018年度をもって新規ODA供与を終了することで日中双方は合意。今後新しい次元の交流や協力について議論。

2019年9月現在実施中案件

① 技術協力プロジェクト

- ① 市場経済の健全な発展と民生の保障のための法制度整備プロジェクト [北京市](14年6月～20年6月)
- ② 環境にやさしい社会構築プロジェクト [北京市](16年4月～21年4月)
- ③ 日中高齢化対策戦略技術プロジェクト [北京市、江蘇省、浙江省、陝西省](16年5月～21年5月)
- ④ パンデミックインフルエンザ等新興/再興感染症等対策プロジェクト [北京市等](16年11月～21年11月)
- ⑤ 地域公衆衛生サービス提供能力及び感染症対策能力強化プロジェクト [北京市](17年3月～21年3月)
- ⑥ 日中石綿関連癌診断能力向上プロジェクト [浙江省](18年3月～22年3月)



中日環境保護ハイレベル円卓会議



北京の病院で看護師として活動



内モンゴルの高校で日本語教育活動



実験農場で野菜の検証



陝西省の奥地で野菜栽培指導



イベントで子供たちに環境教育



湖北省の高校で日本語教育活動



日中友好のシンボルのトキ。2010年から5年間実施されたプロジェクトではトキの生息環境を活かした地域振興支援が行われました



2008年の四川大地震では国際緊急援助隊が派遣されました

新疆ウイグル自治区

チベット自治区



Ⅱ 草の根技術協力

- ① 黒龍江省(食の安全と環境対策)
- ② 遼寧省大連市(大気汚染改善減支援)

Ⅲ ボランティア

【日本語教育】

- ① 内モンゴル自治区通遼市
- ② 江蘇省泰州市
- ③ 湖北省黄冈市
- ④ 貴州省岑巩県

【環境教育】

- ⑤ 四川省崇州市

【看護師】

- ⑥ 北京市

【野菜栽培】

- ⑦ 陝西省榆林市神木県



盆踊りの指導を行う様子